

教 科		保健体育	科 目	体 育	単 位 数	2
履修学年		2学年	使用教科書	アクティブスポーツ（大修館書店）	履修年度	令和2度
科目の目標		「生きる力」を育成することを基本的なねらいとし、運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味あうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
評価規準 （評価の観点及び趣旨）		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
		○各運動領域における競技の特性に関心を持ち個々の技能の段階に応じて努力する、公正な態度を身につけているかを評価する。	○チームや自己の課題を見つけ、課題の解決のために、練習内容や方法を工夫する態度を身につけているかを評価する。	○自分の能力や課題に応じた技能を身に付け、ゲーム及び個人競技に自分の力を発揮できているかを評価する。	○各競技の特性や運動効果、練習方法、安全の確保の仕方等や各競技のルールや審判法等を理解習得しているかを評価する。	
評価の方法		・授業に対しての積極的な取り組み、学習意欲、自主性、協調性、各選択種目での技能などを総合的に評価する。				
		主 な 学 習 内 容				評価方法等
1 学 期	4月	体育理論 ○運動スポーツの文化的特徴 ○運動・スポーツの学び方 ○豊かなスポーツライフの設計				体育 各運動領域テスト
	5月	体づくり運動 ○集団行動 ○体力を高める運動				有酸素運動総合評価
	6月	バスケットボール（領域内選択） ○シュート・パス・ドリブル ○オールコートゲーム				
	7月					
2 学 期	9月	バレーボール（領域内選択） ○パス・レシーブ・トス・スパイク ○ラリーゲーム ○ゲーム				学習意欲・自主性・ 協調性等の総合評価
	10月	サッカー（領域内選択） ○ドリブル・リフティング・ヘディング・トラップ・シュート ○攻撃と防御 ○ゲーム				
	11月	ソフトボール（領域内選択） ○守備（キャッチボール・ノック） ○攻撃（バッティング） ○ゲーム				
	12月					
3 学 期	1月	ラグビー（領域内選択） ○パス・キャッチ・ステップ・キック ○簡易ゲーム				
	2月	陸上 ○競走（長距離）				
	3月	バドミントン（領域内選択） ○各種ストローク（フォア、バック）・サービス ○ゲーム				
		ソフトテニス（領域内選択） ○サーブ・レシーブ・ラリー ○ゲーム レスリング ○基本動作 ○対人技能				
そ の 他						